

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 7月27日更新

事務事業名		合志市エコまつり運営事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名 野口 政浩
	施策	21 廃棄物の抑制とリサイクルの推進				所属課	環境衛生課	担当者名 泉田 聡
	施策の柱	62 ごみの発生抑制とリサイクルの推進				所属班	環境衛生班	(内線) 1145
予算科目	会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11486	根拠法令	合志市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市民がライフスタイルの見直しを考え、地球温暖化防止、ごみ減量やリサイクルの推進を図り、循環型社会の実現を目指す目的で、平成15年度から菊池環境保全組合の構成団体(合志市、菊池市、大津町、菊陽町、環境保全組合)で開催してきたが、平成21年度より各自治体単位で開催することとなった。参加者に、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化に向けた取り組みを周知していく。平成24年度からは、環境団体で組織する実行協議会を設置し、市民と協働によりイベント作りを行っている。
【業務の流れ】	合志市エコまつりの計画・運営(会場等の手配、協力団体との出展内容打合せ、広報・周知、会場設営及び撤収、エコまつり開催、支払い事務、実施報告)
【主な予算費目】	職員手当、需用費、役務費(切手代)、委託料
【意見や要望】	参加者から、エコまつりを楽しみにしている、毎回参加しているといった意見がある。また、毎年継続して実施して欲しいとの意見がある。他の行事と共催することで参加者を増やせるとの意見がある。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成29年度も何らかのイベントと同時開催にて行う予定。
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO) 地球温暖化防止やごみ減量化を啓発するためエコまつりの計画・運営を行った。 平成28年度は、koshi健康まつりと同時開催にて行った。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア エコまつり運営業務の執行時間 イ	(単位) 時間 予算の主な増減の理由 エコ祭り用の消耗品費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア 人口 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ごみ減量化を図る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア エコまつり参加者数 人 イ ごみの量 t
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠 エコまつりは多くの市民に参加してもらい、環境保全・地球温暖化防止・リサイクルの推進・ごみ減量化を図ることが目的であり、成果指標を「環境フェスタ参加者数」、「ごみの量」とした。目標値の参加者数については、過去2か年度の実績を考慮し「8,500人」、ごみの量については、昨年の災害廃棄物量および人口増加等を鑑み「14,061t」と設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込	
① 活動指標	ア 時間		530	530	350	530	350	350	350	350	
	イ										
② 対象指標	ア 人		59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	62,500	
	イ										
③ 成果指標	ア 人		3,000	5,000	3,000	8,000	8,500	8,800	9,000	9,200	
	イ t		13,741	13,896	13,911	14,315	14,061	14,164	14,243	14,279	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	834	947	995	935	1,027	995	995	995
		(A) 事業費計	千円	834	947	995	935	1,027	995	995	995
		(A)のうち指定経費	千円	0	27	38	10	40	38	38	38
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	27	38	10	40	38	38	38
		(B) 人件費計	千円	1,490	0	3,984	0	1,394	1,394	1,394	1,394
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,324	947	4,979	935	2,421	2,389	2,389	2,389		

事務事業名	合志市エコまつり運営事務事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した KOSHI健康まつりと同日開催となった今年度のエコまつりは多くの入場者を確保することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成29年度も、他のイベントと同時開催することで目標を達成できる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 市内の環境団体や事業所等の他のイベントとの連携により、成果向上の余地有り	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に環境に関する市のイベントがない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 環境団体や事業所には無償で協力いただいている。集客を図り、環境問題に関し、市民の理解と認識を得るには、事業費の削減は困難であるが、他のイベントと同時開催することで委託料の削減を図っている。	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 会場設営や講演依頼などは委託する。エコまつり実行協議会を組織し開催するが、主管課として事業の説明や、周知に関する事務事業、開催準備、開催当日の案内等、課員全員の対応が必要であり削減の余地はない	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 市民が対象であるので適正である	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 団体が協力できる分は、お願いしている。環境問題は多岐にわたるので、行政が主導で行うべき事務と事業所や市民団体ができるものは区別して実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成28年度はKOSHI健康まつりと同日開催したことにより、参加者数を大幅に伸ばすことができ、啓発に貢献した。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

【有効性改善】市内の環境団体や事業所等の他のイベントとの連携により、成果向上の余地有り。

【効率性改善】環境団体や事業所には無償で協力いただいている。集客を図り、環境問題に関し、市民の理解と認識を得るには、事業費の削減は困難であるが、他のイベントと同時開催することで委託料の削減を図っている。

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策

コストはそのままでも、内容の計画次第で成果が向上できるので、企画方法の検討が必要である。